

自分の眼で観て企画

「公演が終わった後、お客様の喜んでる顔を見るのが至福の瞬間」と語る近田由美さん



光と風のステージプロジェクトチーム

近田由美さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.05

みの〜れで毎月一回、土曜日の夜に行われる一ドリンク付ライブとして好評を博している「光と風のステージ」。会場となるみの〜れの中庭「風の広場」をライブハウスに変身させ、企画運営しているのが「光と風のステージプロジェクトチーム」。今回はそのメンバーの一人、近田由美さん。

アンテナを張る日常

「アンテナを張るってこういうことなんだからって思った」。光と風のステージプロジェクトチームの一員となつてから、日常にある何でもないものが目に留まるようになり、企画につながるようになってきた。新聞の片隅に載っていた記事を見て他県までアーティストを観に行くなど、「思い立ったら即行動するタイプ」。

プロジェクトチームのメンバーはターゲットのアーティストのライブ現場を訪れ、直接観たうえで他のメンバーにプレゼンするのがルール。自分の眼で観て、間違いない!と思ったアーティストを招聘することが、「毎回楽しみに足を運んでくれるお客様に応

えることになるから」。プロジェクトチームは6名で構成されている。美術装飾が得意な人、会議を引つ張ってくれる人、場の雰囲気明るくしてくれている人、何でも器用にこなす人、縁の下の力持ちに徹している人。「それぞれ運営に必要なものを持っている」と近田さんは語る。そのうえで、自分は「ショムニみたいな存在かな。雑用全般」。

低料金ながら一ドリンク付が好評の「光と風のステージ」。近田さんはそのドリンクの仕入れを一手に引き受け、ライブの雰囲気に合わせてチョイス。お洒落な雰囲気作りに一役買っている。

これから先の目標を聞いてみた。「『かぐら』のように光と風のステージで二〜三回取り上げ、森のホール(六〇〇席)公演

につなげられるよう応援してあげたい」。若手アーティストの発掘・育成を使命の一つと捉えている。

一〇年後。「若い人たちに引き継いでいきたいと思つてます。でも引退しても仕込みとか当日運営に関わりたいな」



【ドリンク隊】
光と風のステージでかかせないドリンクサービスを提供するドリンク隊。プロジェクトチームと一体となって運営している。